

石澤良昭教授がカンボジア伝統儀礼 「師に感謝と長寿祝福のお祝い」の儀式を受ける

2018年3月31日と4月1日の両日にわたり、カンボジア・シェムリアップ市内上智大学アジア人材養成研究センターで、石澤良昭教授の「2017年R. マグサイサイ賞の受賞」をお祝いする「師に感謝と長寿祝福のお祝い」の儀式（健康長寿祝福儀式）が行われた。これはカンボジアの村々に伝わる仏教の伝統儀礼である。

儀式には、たくさんの知友と上智大学同窓生および受講生たち約60名が一堂に会し、カンボジア・アンコール地域（コーク・タノート村）に伝わる儀礼にのっとり、2日間にわたり執り行われた。

この長寿祝福の儀式は、カンボジアの伝統的な輪廻転生にもとづく生涯儀礼の神事であり、何か特別なお祝いの機会（受賞など）があると、多くの関係者が集まり祝う儀式でもある。

導師は僧侶と村のアッチャー（寺男）で、仏陀と土地の守護精霊を招来し、祝聖水を頭からかけるカンボジア村落の独特の祝祭で、近隣住民も参加した。外国人を対象とした祝福の儀式は過去に数例であり、大変名誉なことである。

式次第

◆ 1日目：3月31日（土）15：30～18：00

1. 沐浴儀式（Pithi Sraoch Teuk）師への祈り、師への過去の無礼を許していただく
2. 土地の神への儀式（Pithi Prong Peali）
3. 旗揚げ儀式（Pithi Leuk Torng）
4. 僧侶の読経（Pithi Sot Moan）恩師への感謝、師からのお礼
5. 参加者にご馳走を振る舞う

◆ 2日目：4月1日（日）7：30～11：00

1. おとき齋僧侶（5名）を式場にお迎えし、朝食を差し上げる
2. 健康長寿の最高位のお祝い（Pithi Chansokkirisot）
 - ・ 僧侶の読経
 - ・ 若返り・生まれ変わる儀式（Pithi Chhak Bak Sbek）
3. 僧侶による沐浴（Preah Sang Sraoch Teuk）
4. 托鉢、施し

※儀式詳細は本誌 87 ページ参照

